

こしば新聞

令和6年7月22日(月)63号

都議補選の開票

7月7日に投開票された都議会議員補欠選挙。品川区では2年前に都議会議員を辞職した現区長の森澤恭子さんの一議席を巡りまして、このたび補欠選挙が実施されました。

私たち自民党は区議会の仲間である、せりざわ裕次郎さんを公認候補として応援いたしました。6月の後半から品川区議会では定例会が始まっていますのでスキマ時間を利用して私も応援に入りました。まる一日応援に入れたのは後半戦に入った7日目以降。そういう中でしたが、23区の自民党青年部の若手区議がたくさん応援に駆けつけてくれました。

開票当日、こしばは開票立会人を務めましたので、当日の開票の流れを知って頂ければと思います。昨日の投開票日は20時から品川区立総合体育館のアリーナにて開票立会人の業務に入りました。

【20時10分】近隣の投票所から届けられた投票箱が次々と立会人の前を通過していきます、「開披係」のテーブルに置かれていきます。

【20時40分】すべての投票箱がテーブルに置かれたのを確認して、いよいよ開票が始まりました。

開披係でまとめた票の束を分類機に入れます。正確な票と有効か無効か判断できない票がここで分かります。

今回、ここで有効か無効かわからない票がかなり多く出ま

りました。

【21時過ぎ】分類機を通した票は、点検係の点検を受けたのちに500枚を一束にし、計数を記録する係に持ち運ばれ、そこから点検台と呼ばれる台におかれます。

【21時30分】点検台におかれた票の束が、30分毎の品川区の選挙速報として公表され、のちに積載台と呼ばれる台に載せられます。

立会人は立会人の業務のほか、票の行方を陣営に伝えるためその前のタイミングで票の束を数えます。

【21時30分】公式の第一報。第一報では全員が3500票。しかし立会人は最新の票読みを行い陣営に伝えていきます。この時点ですでに1位と4500票差が

ありました。

【22時】

公式第二報。1人を除いて3人とも13500票。しかし現場ではせりざわ候補は2万5500票、しのはら候補は3万5500票。20束の差、1万票の差がついてました。

【22時半】公式第三報。1人を除いて3人とも22500票。現場ではせりざわ候補4万1000票、しのはら候補は4万7000票であることを伝えました。票差は6千に縮み、まだ残票が9万2千あることを陣営に伝えました。

【23時】公式第四報。しのはら候補5万8500票、せりざわ候補は5万1000票。このあたりから席に座り、分類機から弾

かれた「有効票」の確認作業に入る。100枚一束のものが次から次へと立会人の前に置かれる。そのほとんどが、せりざわ裕次郎候補。ここから約2時間半。ずっと有効票や疑問票の確認作業。結果として有効票5千票がせりざわ裕次郎候補に入る。陣営に伝えられた直後に、しのはら候補に当確との報道。

【2:04】確定。せりざわ裕次郎候補は5万7641票。しのはら候補は6万94票。立憲民主党の菅原ちいね候補は3万7812票。かわぐちめぐみ候補は2万9127票。

私の同志せりざわ裕次郎候補は残念ながら惜敗しました。

【23時】

【23時】



【お問い合わせ先】
自由民主党
東京都品川区第三十四支部
〒140-0014
品川区大井 5-6-2-101
☎ 090-6106-2272
Fax 03-6303-7037
※ご希望の方には新聞をお届け致しますので、ご連絡願います。



ご相談や区政へ
のご意見をお聞
かせ下さい。
☎ぜひラインも

第二回定例会

6月27日から7月10日にかけて品川区議会では第二回定例会が行われました。

今回の定例会では7億円におよぶ補正予算案が各委員会で審議、採択されたのちに本会議に移され可決成立しました。

今回の補正予算では、品川区の防災政策がまた一歩進むことになりました。

一つはトイレトラック。こちらは6月に石原ひろたか代議士を筆頭に区議会自民党無所属の会・公明党が要望を区長にお願いたしましたところ、スピードある判断で今回の補正予算案にトイレトラック一台分約3千万円の予算が組み込まれました。この背景には年明けに発生した能登半島沖地震のあと、避難所生活を送る住民にとってはトイレ事情が課題でした。今回、品川区が提携する助けあいジャパンの矢野氏いわく「現地では下水管の機能が失われ避難所ではトイレの環境が悪化の一途を辿っていた。避難所生

活を送る住民は排泄を我慢するようになり、脱水症状で運ばれる人も続出した」という有様だったようです。その後、能登半島に全国各地にあるトイレトラックが搬入され、ようやくトイレの事情が改善されてきたとのことでした。



このトイレトラックですが6つのユニット（トイレ）が完備されているそうです。災害時に必要となるだけでなく平時でも区内の大きなイベントで活用されれば有効ではないでしょうか。

今回の補正予算では、他にマンション防災の一環として、エレベーターに閉じ込められた住民が助け出されるまでの間

に命を繋ぐことができように水や保存食を収納した防災チェアを区内のマンションに希望があれば配布することが決定しました。詳細の内容は次の通りです。

受付開始：令和6年8月1日
対象マンション：3階建て以上15戸以上、防災チェアを導入していない
機能：5名が8時間ほど待機できる程度の水・食料品

今回の補正予算として左記のとおり防災対策がございますが、それ以外には宅配業者の再配達に伴う燃料の消費、CO2の排出を少しでも減らすべく置き配用の宅配ボックスが新たに追加されました。詳細の内容は次の通りです。

事業の周知：令和6年8月頃
助成金受付開始：令和6年9月頃

助成金額：経費の半分

戸建てや集合住宅ごとに助成される金額に違いがあります。

内訳

分類	戸建住宅	集合住宅	IOT対応の戸建住宅	IOT対応の集合住宅
助成金額	区内業者への発注分：26件 (上限5万円)	区内業者への発注分：60件 (上限10万円)	区内業者への発注分：2件 (上限15万円)	区内業者への発注分：3件 (上限20万円)
	区外業者への発注分：9件 (上限3万円)	区外業者への発注分：3件 (上限8万円)	区外業者への発注分：1件 (上限13万円)	区外業者への発注分：2件 (上限18万円)

内訳をみますと申請できる数が限られていますのでお早めに申請されることをお勧めいたします。8月に入りましたら、品川区HPや広報しながら具体的な受付方法が掲載される予定ですのでぜひご活用ください。

梅雨が明けました。この時期になりますと甲子園を目指す高校野球予選に出場する母校の結果が気になります。今年は残念ながら3回戦で敗退。来年に期待します。

連日連夜、暑い日が続きますが皆様におかれましてはこまめな水分の補給、そして適度にエアコンを使用するなどしてご自身の体を労わってください。品川区では5月から最寄りの地域センターをはじめとした区内公共施設、そして協定しました薬局を避暑シェルターとして認定し、夏の猛暑から区民の皆様の健康を守っていく取組みが始まっております。避暑シェルターでは区民の皆様に水分の補給などを実施しておりますのでご利用ください。